



## 琵琶湖・淀川流域シンポジウムの開催について

令和5年1月26日  
本部事務局

## 1 目的

琵琶湖・淀川がもたらす自然の恩恵と流域の豊かな暮らしとのつながりのほか、流域が抱える様々な課題について、シンポジウムによる幅広い情報発信を行い、住民や自治体関係者等の理解と意識を深めるとともに、関西広域の流域連携や地球環境問題への取組みをより一層進める。

2 対象・定員 一般住民、自治体関係者 約400名(会場200名、オンライン200名 先着順)

3 実施日時 令和5年3月20日(月) 14:00～16:40

4 実施場所 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)12階 特別会議場(大阪市北区中之島5-3-51)  
オンライン同時開催

## 5 テーマ

## 「気候変動とどう向き合うか

## ～琵琶湖・淀川流域を巡る治水・利水・そして自然環境保護のドラマ～」

琵琶湖・淀川流域は、わが国を代表する大流域であり、その給水範囲は流域を越えて1700万人におよび、関西の社会・経済・文化の基盤として、人々の暮らしや産業を支えている。

関西広域連合においては平成25年の大規模自然災害の発生を契機として、平成26年に「琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会」を設置し、流域が抱える様々な課題等を整理等するとともに、流域全体での取組み等について鋭意、検討してきた。

本シンポジウムでは、流域のいにしえからの人々の自然豊かな暮らしや取組み、近年の地球環境の変化を踏まえ、「この先も流域の恵みを絶やさず、災害を防止し、人々の暮らしを守っていくために、一人ひとり、何ができるのか、どう行動すべきか」についてあらためて考える機会とする。

6 プログラム 14:00～16:40

あいさつ (5分)	主催者 関西広域連合
講演① (30分)	「これからどうする? ～関西の暮らしと気候変動～」 塩見 泰子 氏 (気象予報士、防災士、NHK大阪「おはよう関西」等気象キャスター)
講演② (30分)	「気候変動と淀川流域や大阪湾の水害リスクの今後」 森 信人 氏 (京都大学防災研究所 副所長/教授)
講演③ (30分)	「琵琶湖・淀川における流域の取組み ～過去・現在から未来へ～」 三和 伸彦 氏 (滋賀県 理事(琵琶湖政策・MLGs推進担当)、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構 理事長)
休憩等 (15分)	MLGs体操 + 休憩 琵琶湖版のSDGsであるマサ・レイコ・ホルズ(MLGs)を「からだ」で表現する「MLGs体操」を体験
トーク セッション (50分)	「これからの琵琶湖・淀川流域 ～このドラマをどう紡ぐか～」 ①活動紹介「大学生ボランティアによる環境保全活動～琵琶湖を守るための第一歩～」 NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA) ②トークセッション <コーディネーター> ・多々納 裕一 氏 (琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会座長、京都大学防災研究所 教授) <トークセッション参加者> ・塩見 泰子 氏、森 信人 氏、三和 伸彦 氏 ・NPO法人国際ボランティア学生協会 IVUSA

## 7 申込方法

下記申込フォームから申込。

○申込フォーム <https://forms.gle/3ZsRQ16oE8w4jb817>

○申込締切 令和5年3月10日（金）（先着順のため、定員に達し次第、受付終了）



## 8 主催

関西広域連合

## 9 後援・広報協力

後援：国土交通省近畿地方整備局、独立行政法人水資源機構関西・吉野川支社、  
公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構、水都大阪コンソーシアム、MLGs推進委員会、  
公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所

広報協力：大阪市高速電気軌道株式会社（Osaka Metro）、京阪ホールディングス株式会社

## 10 問い合わせ

関西広域連合本部事務局 地方分権課

TEL:06-4803-5674、FAX:06-6445-8540

E-mail:biwako-yodogawa@kouiki-kansai.jp

関西の社会・経済・文化を支えている  
「琵琶湖・淀川流域」  
その暮らしと未来について考えます

NHK「おはよう関西」に  
出演されている  
塩見泰子さんにも  
ご講演いただきます



琵琶湖・淀川流域シンポジウム

# 気候変動とどう向き合うか ～琵琶湖・淀川流域を巡る治水・利水 そして自然環境保護のドラマ～

琵琶湖・淀川流域は、わが国を代表する大流域であり、その給水範囲は流域を越えて1700万人におよび、関西の社会・経済・文化の基盤として、人々の暮らしや産業を支えています。

関西広域連合においては、「琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会」（座長：京都大学防災研究所 多々納裕一 教授）を設置し、流域が抱える様々な課題を整理等するとともに、流域全体での取組み等について検討してきました。

この度、これまでの様々な取組みや近年の地球環境の変化を踏まえ、琵琶湖・淀川流域の豊かな自然とともに、これからも人々の暮らしを守っていくために、私たち一人ひとり、何ができるのか、どう行動すべきかについて、シンポジウムを開催します。

参加無料  
要参加申込み

申込締切

令和5年  
3月10日(金)

日時

2023年 3月20日(月)  
14:00～16:40 (開場 13:00)

場所

大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)  
12階 特別会議場 (大阪市北区中之島5-3-51)

定員

約400名

(先着順)  
会場 200名  
オンライン 200名

主催



後援

国土交通省 近畿地方整備局／独立行政法人 水資源機構 関西・吉野川支社／  
公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構／水都大阪コンソーシアム／  
MLGs推進委員会／公益財団法人 関西経済連合会／大阪商工会議所

# プログラム

14:05

## これからどうする？～関西の暮らしと気候変動～

講演  
1

気象予報士、防災士、健康気象アドバイザー

### 塩見 泰子 氏

NHK「おはよう関西」「ニュースきん5時」などのテレビ番組で、日々の気象情報をわかりやすく伝えておられる塩見さんに、関西・琵琶湖流域の暮らしと、気象、地球環境の変化とのかかわりについてご講演いただきます。



14:35

## 気候変動と淀川流域や大阪湾の水害リスクの今後

講演  
2

京都大学防災研究所 副所長/教授

### 森 信人 氏

地球温暖化は、淀川流域の水害リスク、沿岸災害リスクも高めてしまう!? 地球環境の変化における流域への影響について、ご講演いただきます。



15:05

## 琵琶湖・淀川における流域の取組み ～過去・現在から未来へ～

講演  
3

滋賀県 理事(琵琶湖政策・MLGs推進担当)、  
(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構 理事長

### 三和 伸彦 氏

「湖・川」は多くの恵みを与えてくれるとともに、災害や人々の争いももたらしてきました。これまでの流域の人々が直面した困難と工夫、そして新たな連携に向けての取組みについてご講演いただきます。



15:35

休憩

## MLGs体操、休憩

琵琶湖版のSDGsであるマザーレイクゴールズ(MLGs)。MLGsを「からだ」で表現する「MLGs体操」を体験してみましょう。



Mother Lake Goals

15:50

## これからの琵琶湖・淀川流域 ～このドラマをどう紡ぐか～

トーク  
セッション

### 活動紹介

### 大学生ボランティアによる 環境保全活動

～琵琶湖を守るための第一歩～

NPO法人 国際ボランティア学生協会 IVUSA



### トークセッション

コーディネーター

琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会座長、  
京都大学防災研究所 教授

### 多々納 裕一 氏



### トークセッション参加者

塩見 泰子 氏、森 信人 氏、三和 伸彦 氏、  
NPO法人国際ボランティア学生協会 IVUSA

## 会場アクセス

大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)  
12階 特別会議場  
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51

▶ 京阪電車 中之島線  
「中之島(大阪国際会議場)駅」2番出口 すぐ

## 申し込み方法

下記サイトの申し込みフォームより必要事項を  
記入の上、お申込みください。

<https://forms.gle/3ZsRQ16oE8w4jb817>



スマートフォンでの  
お申込みはこちら



申込締切

令和5年

3月10日(金)

問合せ先

関西広域連合 本部事務局地方分権課

TEL : 06-4803-5674 FAX : 06-6445-8540

E-mail : [biwako-yodogawa@kouiki-kansai.jp](mailto:biwako-yodogawa@kouiki-kansai.jp)